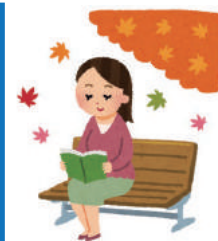




【内部資料】発行責任者
佐藤せい子を育てる会
会長 坪井英明

せい子通信



あなたの声を届けます！市議会議員は地域づくりのレポーター

2020年 秋号 vol.70

これまでにないような暑い夏でしたが、いつの間にかすっかり秋となりました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス感染症拡大による生活「新しい生活様式」にも、馴らされてきましたよね。三密を避け、手洗い、マスク着用は基本。遠出は避け、人とはあまり会わない、外食よりもケータリング等々。本当に、どこかで誰かに縛られているような、自分の思うように生活できないのは、清々しない生活ですよ。まだまだ、収束時期が見えていない状況の中、GO TOトラベルや飲食店の時間延長などが行われています。命を守るのが政治の第一の使命だと思います。確かに、経済が回らなければ生活を守れないという事でしょうが、優先順位を決めるのが、リーダーの役割と思います。

静岡市は、4月から9月までの議会に6弾までのコロナ関係の補正予算を計上、800億円程が可決されました。もちろん国、県からの補助金、そして自前での対応です。それに当たり、市当局が大きな決断をした事をご存知と思います。第3次総合計画の5大構想の3本柱の予算執行を一旦停止しました。今回質問した、海洋文化拠点づくりと清水庁舎移転建築、歴史文化拠点づくりです。しかし静岡の歴史



事業が再開される
歴史文化拠点施設イメージ図

文化拠点づくりは、直営で進められることになり建設へと進んでいく事になります。一方、清水区の賑わいづくりは、桜ヶ丘病院の移転新築問題との関係もあり、大きな課題となっています。しっかり注視していきたいと思っています。なぜ、この施策建設を進めるのか。民間、学術専門家とどこまで連携ができるか。このコロナを経ても尚、進めるべきなのか等熟考し、市民に、説明することが大事なのではないかと思っています。

地域の安心安全を守る！



今年度は、地域の集会やイベントも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されてきましたが、細心の注意を払って、リアル研修会が開催されました。

東源台自治会連合会主催で、「わが家と地域の防災対策」～南海トラフ地震から命を守るために～が開催されました。駿河区役所、地域総務課地域予防係の出前講座です。静岡市地域女性団体連絡会の皆さんからの、各地の避難所での実情の説明などもあり、実りあるものでした。

コロナ感染拡大を防ぐため、各自治会から3名ずつ参加、マスク着用、ソーシャルディスタンスを保つための研修会でしたが、地元で予想される危険・地震被害など、地図上に落とし込んだ内容は、身近に捉えることができる内容でした。自助・共助・公助の責任分担。日常にある「助け合い」「きづな」「つながり」を大切にしてください！と締めくくられました。



市長・女性議員と語る会に参加。感染防止対策をとりつつ、活発な意見交換が行われました。

政治の動きについて そして私の思い

与党の大きな動き、安倍政権から菅政権へと交代しました。突然の出来事。森友学園の払い下げ問題や、加計学園の問題、桜を見る会など、未解決の課題はどうなるんだろうかと思いました。菅総理は、桜を見る会はやらない。前記の2件についても、再調査等はやらないとのこと。このままで良いとは思えない大きな課題です。新たな日本学術会議の任命問題が浮上しています。うやむやにしない様に、与野党・当局の議論に期待しているところです。

さて私は、元々、2大政党の形を標榜しておりましたので、昨年来の統合に期待しておりました。野党が大きな塊になれるのではないかと…。結果、残念ながら大同小異の野党、大きな塊になりませんでした。すっきりしない日々が続いていました。しかし、民主党以来 26年余の党の歴史に幕を下ろした国民民主党から離れ、無所属となりました。もともと、政党を前面に出しての市政とのかかわりではなく、「政治は日常生活の延長線上にある」を原点に活動してきた私の活動は、何ら変わりはありません。これからも、今抱える身近な課題解決に精進していきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

今回も身近な皆様の声を当局にお届け（代弁）しています



■土手の草刈り



■カーブミラー設置



■交差点など危険箇所対応

■ごみ回収ボックス設置

■防犯灯設置

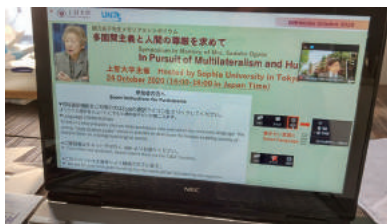
■側溝清掃

■竹藪の伐採 など

なお、対応状況については、わかり次第、ご返答させていただいております。

様々なオンラインセミナーに参加しています

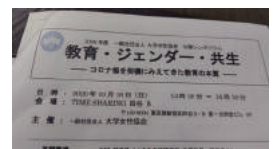
緒方貞子先生メモリアルシンポジウム 「多国間主義と人間の尊厳を求めて」



緒方貞子・元国連高等弁務官の1周年忌を記念し、国連の日に、上智大学主催で、シンポジウムが開催された。通訳付きで、世界中で 1800 人もの方々が参加。人間の安全保障、人間の尊厳に徹して、恐れを知らず目的のために動いていた緒方貞子さん。交流のあった世界中の方々が、パートナー、ミスター緒方さんとの話も含め、盛りだくさんの内容。緒方さんの業績、人となりが語られた。稀有なる日本女性の活躍であったのは間違いない。若い人達もたくさん視聴していたとの事。是非、後に続いてほしい。平和であってこそですが…。

「教育・ジェンダー・共生」 ～コロナ禍を契機にみえてきた教育の本質～

中村桂子 J T 生命誌研究館名誉館長の基調講演。各地教育現場での実践の話と続き、このコロナ禍を経験し、模索し、気づき、変わっていく事が必須なんだと実感した。先生も生徒もこの変化への適応をできるだけ早く認識し、自分事として捉え対応していく事が必要なのではないかと思った。



11月議会 日程

11/24 本会議（上程）

12/2・3・4

本会議（総括質問）

12/8・9 常任委員会

12/18 本会議（表決）



佐藤せい子



〒422-8008 静岡市駿河区国吉田 4-25-19
TEL : 054-267-2000 FAX : 054-267-2001
ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/sseiko1022>
ホームページ satoseiko.com
メール sseiko@nifty.com